

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷 春敏

事業名 ほじょだい140ごうせん けいせいおしあげせん 補助第140号線（京成押上線）	事業 街路	事業主体 東京都
起終点 自：東京都葛飾区東四つ木 至：東京都葛飾区立石		延長 1.1km
事業概要 京成電鉄押上線の四ツ木駅から青砥駅間を連続して立体化し、補助140号線（平和橋通り）を含む11箇所の踏切を除却することで、日常的な交通渋滞の解消、安全性の向上、鉄道による地域分断の解消を図る。		
H9年度補助140号線 新規事業採択	H12年度補助274号線 新規事業採択	H13年度都市計画決定
全体事業費 475億円		事業進捗率 7%
計画交通量 147,063台時/日		供用済延長 0km
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.4 (残事業) -	総費用 (残事業)/(事業全体) - /386億円 (事業費：- /386億円) (維持管理費：- /0.20億円)
	総便益 (残事業)/(事業全体) - /920億円 (走行時間短縮便益：- /908億円) (走行費用減少便益：- /11億円) (交通事故減少便益：- /0.80億円)	基準年 平成18年
感度分析の結果 交通量、事業費等の変動を想定しても、費用便益分析の結果に問題なし		
事業の効果等 ・踏切を除却することによる日常的な交通渋滞の解消及び鉄道による地域分断の解消を図るとともに、事業を契機とした地元まちづくりの推進に寄与する。		
関係する地方公共団体等の意見 ・特になし		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・特になし		
事業の進捗状況、残事業の内容等 進捗率：用地取得率19%（面積ベース27%、物件ベース33%） 残事業：用地取得7,446㎡（88件）、仮線工事、高架橋工事		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成9年度事業採択から平成15年2月の事業認可取得まで一定期間を要した。 ・地元から概ねの理解が得られており、順調な用地執行が見込まれる。		
施設の構造や工法の変更等 ・特になし		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 ・踏切を除却することによる、日常的な交通渋滞の解消や鉄道による地域分断の解消を図るためには、鉄道の連続立体交差化は必要不可欠な事業であり、早期完成に向けて事業を進めていく必要がある。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。